

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	長野県	事業実施主体	大鹿村	地域再生計画名	カラマツとアルプスの美しい村『大鹿』計画
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	大鹿村産業建設課		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	アクセス改善（パノラマ公園～小 浜温泉）	30分	R1	30分	R4	30分	28分		R6	○		指標 総数
									基準年度				
	指標 2	木材生産量の向上（役場～上金橋 までの所要時間）	37分	R1	37分	R4	37分	35分	R6	○	2	2	中間目標値は達成している。最終目標値に向けて計画変更も視野に入れ目標達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 （R4）	最終実績 見込み								
	特別措置を適用して行 う事業	村道整備事業（整備延長）	6,875m	1,360m	6,875m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約19%と遅れが生じているため、R5年度以降の単年度施工延長の増を図り道路整備を実施していく。							
		林道整備事業（整備延長）	2,740m	2,300m	2,740m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約84%とほぼ計画を達成している。引き続き計画に従って道路整備を実施していく。							
	その他の事業												
	計画外で独自に実施し た事業												
③評価方法	大鹿村内の自治会長27名にて12月に開催される自治会長会にて評価を実施する予定。（内、村議会議員2名）												
④中間評価の公表方法	大鹿村のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワークを強化することで、観光拠点へのアクセス時間短縮や農林産物の効率的な運搬を図り、観光集客数及び素材生産量を増加させることを目的としている。 なお、指標1及び指標2のアクセス時間については、現時点で中間目標を達成しているが、最終目標に向けてアクセス時間を短縮できるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					計画上の道路整備を行うことで、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況に遅れが生じている。 R4年度に地域再生計画の軽微変更報告を行い、単年度毎の整備延長及び事業費の変更を行ったが、R6年度についても事業費を増としたい。							
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額40,442千円												
⑦今後の方針等に対する 対応	●事業費の増に伴う、計画の重要変更申請を予定。 ●村道2路線の事業費の見直し ・整備事業量 認定時6,875m→見直し後6,875m [増減なし] ・令和6年度の事業費 軽微変更報告時43,116千円→見直し後124,000千円 [80,884千円（うち交付金40,442千円）増] ・総事業費 軽微変更報告時226,000千円→見直し後307,000千円 [81,000千円（うち中間評価を反映した増額81,000千円）（うち交付金40,442千円）増]												